

第14回企画展

【利根沼田地域連携企画展】

利根沼田の絹遺産

—お蚕さまがいたくらし—

片品村

永井流養蚕伝習所実習棟

永井いと像

川場村

門前春駒

昭和村

薄根の大クワ

蚕神塔

旧鈴木家住宅

蚕影山宮の石宮

利根風穴

正円寺の馬鳴菩薩像及び馬鳴堂

沼田市

雲越家住宅

河合家住宅

みなかみ町

2021/10/28(木)~12/26(日)

開館時間	午前9時30分~午後5時
休館日	毎週水曜日(11月3日を除く)、11月4日、25日
観覧料	一般220円(団体20名以上170円) 中学生以下無料、障がいのある方と 付き添いの方1名無料
主催	沼田市歴史資料館(テラス沼田2階)
連絡先	電話 0278-23-7565 FAX0278-23-7566
住所	〒378-8501 沼田市下之町888 テラス沼田2階
ナビ	〒378-0044 沼田市下之町1018(下之町駐車場)

沼田市  
歴史  
資料館

## 第14回企画展【利根沼田地域連携企画展】

### 利根沼田の絹遺産—お蚕さまがいたくらし—

“おこさま”という言葉聞いたことはありますか？

美しい繊維を生み出す家畜化された昆虫、“蚕”のことを、人々は”おこさま“あるいは”おかいこさま“など呼びます。

蚕はチョウ目カイコガ科カイコガ(カイコ)という蛾の幼虫ですが、人のために改良された蚕は、成虫になっても飛ばません。そもそも成虫になれるのは、卵が必要な時だけで、あとは繭になった段階で、人によってその成長をとめられます。長く幼虫の時期を過ごした蚕は、美しい白金の繭の中で蛹となったまま、成虫になることは叶わないのです。

美しい糸を吐き人の生を彩る、天から授かった虫。養蚕に携わる人々は、そのけなげで儂生き物をまるで自分の子どものように、あるいは神仏を敬うように、繭となるまで愛情をもって、大切に大切に育てます。それぞれ、繭となる前に蚕が死んでしまった場合、夜も眠れぬほどに悲しむそうです。そこには、経済基盤を失ったというだけでは説明のつかない、深い喪失感があるのではないのでしょうか。なぜなら養蚕という仕事は、命を育て、その生をまっとうするまでを見守る作業なのですから。

その養蚕の歴史は古く、おおよそ5000年前から6000年前の中国が起源とされています。日本には弥生時代頃に伝来し、その後日本各地へと伝わりました。

蚕の生み出す絹は、日本最古の和歌集である『万葉集』において、上等の衣であると詠われています。その手触り、光沢、染色の美しさにおいて絹は古来より人々を魅了し、「繊維の女王」と評されてきました。

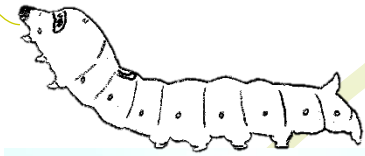
近代以降、国の産業として発展した養蚕ですが、群馬県も昔から養蚕が盛んであり、それはこの利根沼田の地域も例外ではありませんでした。

しかし、利根沼田の養蚕農家は年々減り続け、現在養蚕を行っている家は数軒しかありません。多い時は7000軒もの戸数があったことから考えると驚きの減少数です。蚕が主食とする桑の畑の風景も、すでに遠い記憶となりつつあります。

化学繊維の発達や海外から輸入された安価な生糸や絹製品によって、日本の絹産業が打撃を受け、かつて世界一位の生産量を誇った日本の繭生産量は100分の1以下となり、衰退していると言わざるを得ない現状ですが、近年では、改良された蚕でつくった暗闇で光る絹の開発や、衣類だけに限らない絹糸の活用などで、今なお日本の絹産業は世界に誇れるものであり続けています。

平成26年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されたことで、わたしたちは“養蚕”に再び意識を向ける機会を与えられました。

今回の企画展のテーマは、数多くの絹遺産の中から「ぐんま絹遺産」として、地域振興や観光、文化的事業に役立てるような保存活用を目指して登録された、養蚕(絹)に関係する建造物、民俗芸能など、「ぐんまのたからもの」ともいえる文化財(利根沼田地区)を取り上げています。現在利根沼田地域で、この「ぐんま絹遺産」に登録されている文化財は11件。利根沼田が、群馬県が、日本が世界に誇る養蚕の歴史を紐解き、わたしたちのために命を紡いでくれる“お蚕さま”のことを、少しでも皆様に知っていただけるよう、利根沼田地域の連携企画展として、今回のテーマを選びました。懐かしいという方も、知らなかったという方もいらっしゃるかと思います。皆様どうぞ、一度足を運んでみてください。



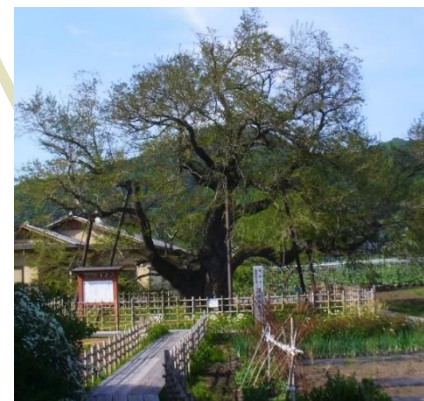
永井流養蚕伝習所



永井いと像



門前春駒



薄根の大クワ



## 沼田市歴史資料館

〒378-8501 沼田市下之町 888 テラス沼田 2階

電話 0278-23-7565 FAX 0278-23-7566

[ナビをご利用の場合 〒378-0044 下之町 1018 (立体・平面駐車場)]

共催：片品村教育委員会、川場村教育委員会、  
昭和村教育委員会、みなかみ町教育委員会